麦 作 技 術 情 報 No. 1

令和8年10月23日
鳥取県産米改良協会

本年の麦作に向けての留意事項

① 適期播種に努める

中国地方3か月予報(令和8年10月20日、日本気象協会発表)によると、播種時期である11月の山陰地方の天候は、期間の前半は数日周期で天気が変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多く、後半も曇りや雨の日が多い予想である。気温は高い確率60%で、降水量は多い確率50%と予想されており、極端な早播きは避け、11月上旬の晴れ間における播種を基本とする。

② 茎数及び穂数の確保

・適期に播種する。播種時期が遅くなる場合は播種量を多めに調整して、生育初期の茎数確保に努める。

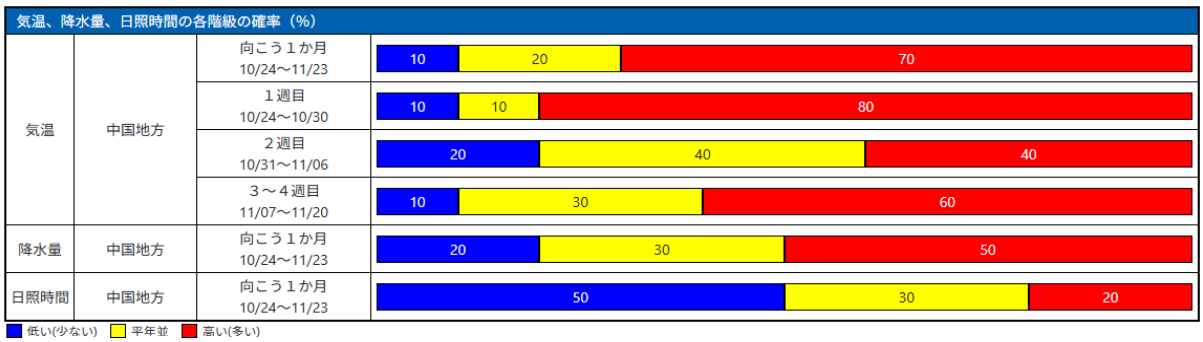
・排水対策を徹底し、苗立率の向上と分げつの促進を図る。

③ 生育量に応じた追肥の徹底

・茎数、生育ステージに応じた追肥時期及び追肥量の適正化を徹底する。

Ⅰ 気象状況

中国地方（山口県を除く） １か月予報（10/24～11/23）		
2026年10月22日14時30分 広島地方気象台 発表		
特に注意を要する事項		期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。
向こう１か月 10/24～11/23	天候	山陰では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。山陽では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率７０％です。
	降水量	降水量は、多い確率５０％です。
	日照時間	日照時間は、少ない確率５０％です。
１週目 10/24～10/30	気温	１週目は、高い確率８０％です。
２週目 10/31～11/06	気温	２週目は、平年並または高い確率ともに４０％です。
３～４週目 11/07～11/20	気温	３～４週目は、高い確率６０％です。



Ⅱ 技術対策

1 適地の選定

・適地の条件としては、排水が良好であることが必須である。

・ほ場の土壌条件からみた適地の目安は以下①～③のとおり。

①表層から深さ45cmまでの土壌が強粘質ではないこと。(黒ボク土や壌質(砂と粘土の比率がおよそ半々)の土壌が適している)

②表層から深さ45cmまでの土壌に灰色や青灰色、青色(グライ斑、グライ層)の土壌がないこと。

③地下水位が50cm以下であること。

・現在麦作付けが行われている主な地域は、平坦地で面的に集積された地域が中心となっており、排水不良等の条件不利ほ場にも作付けざるを得ない場合が多いことから、徹底した排水対策と適期作業などの基本技術の励行が特に必要である。

・団地化はもとより、大豆跡他へ作付する等、ほ場条件の改善を目的とした対応も重要である。

2 排水対策等

・安定多収・品質向上のためには営農排水対策が最も重要な技術対策である。
・ほ場の乾燥が進めば、円滑な播種作業が可能になるだけでなく、砕土率が向上して十分な苗立ちが確保され、播種後に散布する土壌処理除草剤の効果も安定することで、作業の効率化や除草体系の低コスト化につながる。また、生育初期の分げつを確保することで穂数が確保され、収量の安定化と品質向上に寄与する。
・明渠施工等の排水対策は、稲刈り後可能な限り早く行い、ほ場を十分に乾燥させることが重要である。

(1)額縁明渠の設置

・ほ場周囲に額縁状の明渠(深さ20～30㎝程度)を施工する。
※作土が浅く、明渠の深さを確保できない場合は、サイドリッジャ等による補助的な明渠や、畝立播種等で可能な限り表面排水を促す。
・大区画ほ場等では、播種行程に合わせて、20m程度の間隔(排水不良のほ場では4～5m間隔)で深さ15㎝程度の補助的な明渠を設置する。
・明渠施工には、リターンデッチャまたはオーガートレンチャ等の専用機を用いることが望ましい。ロータリ＋培土板で行う場合には、降雨後における耕うん部分の土壌水分が低下しにくくなるので、降雨の量やほ場の排水性を考慮して行う。
・明渠に集水された後、ほ場外に排出されることが重要であるため、必ず排水口に連結しておく。

(2)補助暗渠の設置

・本暗渠に直交して4m程度の間隔で弾丸暗渠等の補助暗渠を施工する。
・弾丸暗渠や補助明渠は、額縁明渠に必ず連結し、排水口に連結した明渠からほ場外に排水されるよう促す。

3 土壌酸度の矯正等

・耕うん作業に入るまでに、コンバイン排出稲わらは田面に均一に広げる。
・麦は比較的酸性に弱いので、土壌診断によりpH6.0～6.5に矯正する。
・酸度の矯正には苦土石灰を使用し、水稲跡の施用量は10a当たり100kg 程度を目安として、播種1週間前までに施用する。
・近年、pHが低いことにより、生育抑制や株の消失が見られるほ場があるため、過去に生育不良であった履歴のあるほ場は、事前にpHを測定し、苦土石灰を施用し酸度矯正を行う。

4 基肥

・麦では基肥の肥効が切れやすいため、肥効の発現が緩やかな石灰窒素を使用すると効果が高い。
・作業計画やほ場条件の都合で止むを得ず10月下旬の早播となる場合、過繁茂となりやすいので、石灰窒素の施用量は30kg／10a程度を基本とする。また、大豆跡の基肥窒素量は基準量の半量とする。
・大豆等水田転換畑による連作となる場合は、土壌中の石灰、苦土、りん酸などが多くなっている場合があるので、土壌診断により苦土石灰、PK化成の施用量を決める。
※現地で普及している尿素を利用した低コスト施肥体系は、基肥−追肥Ⅰ−追肥Ⅱの窒素量(kg/10a)が 10.0−4.6−2.3 であるが、令和7、8年産の場内(大豆跡基肥半量)及び現地試験において、収量・品質及び精麦の成分に問題がないことを確認した。

基肥の施用基準(kg／10a)

成分	二条大麦	資材(施用量kg／10a)
窒素	10	石灰窒素(窒素21%)を基本とする(50)
リン酸	10	ようりん(50)または重焼燐28(35)またはPK化成(50)
加里	6	塩加(10)またはPK化成(50)

注 1)石灰窒素は播種1週間前までに散布する。
2)黒ひかり(窒素12%)を用いる場合は窒素施用量を基準に施用する。
3)PK化成はリン酸施用量を基準に施用する。
4)石灰窒素以外の速効性肥料を用いる場合は、肥効が短いために生育量が不足し、追肥対応が必要になる場合がある。

5 うね作りと播種

(1)うねの作り方

・うね立て栽培は、湿害を回避する効果が高い。
・幅の狭い高うねが望ましく、播種機を装着するロータリの片培土が便利である。
・うね肩や溝中央に沿って盛り上がった土は排水不良の一因となるので、培土板の角度やうね幅を調整し、均平にしておく。

(2)播種作業

・播種は、晴天が2～3日続くことを見定めて、耕うん、砕土、整地作業と一貫して行う。
・収量の確保と品質改善には生育初期の茎数及び穂数の確保が重要である。そのため、適期播種と播種量の適正化を徹底する。
・播種適期は、二条大麦が11月1日～10日である。播種時期が遅くなる場合には播種量をやや多めに調整し、苗立数の確保によって茎数及び穂数の確保に努める。
・播種深度が深すぎると出芽率が低下するだけでなく、分げつが抑制される傾向があるため茎数不足となりやすい。そのため、覆土深度は条播では2～3cm、全耕全面散播では3～5cmを徹底する。
・また、播種作業等で明渠の一部が崩れて溝を埋めている例も多く、土塊によって水が流れなくなっている場合は明渠の手直しを行い、排水を徹底する。

※播種期ごとの播種量の目安　(10a当たりkg)

播種期	播種量(播種様式別)
10月下旬	
11月上旬	**条播:　9kg 散播:11kg**
11月中旬	条播:10kg 散播:12kg

極端な播種残や不足が発生しないように播種機の吐出設定を行い、規定量の種子が播種できるように調整すること。

１０月下旬播種は、年内の過繁茂や早期出穂につながるリスクがあるため推奨しないが、天気予報やほ場状況及び播種計画等の事情により、１０月下旬播種が必要な場合はやむを得ない。

6 除草対策

(1)播種後除草

・播種作業が終了した後、出芽前(播種後1週間以内が目安)までに土壌処理剤を散布する。
・除草剤は雑草の発生状況を考慮して、適切な剤を選択する。
・一般に粒剤・細粒剤と比較して乳剤の効果が安定しており、重複散布に注意すれば薬害も発生しにくい。
・安定した除草効果を得るためには、ほ場の乾いた時期に耕うん・整地を行い、砕土性を高めておくことが重要である。
・近年一部地域で繁茂しているトゲミノキツネノボタンは、深い位置から出芽することから、発生期間が長い傾向があるので、生育期除草剤との体系処理が効果的である。

(2)生育期除草

・土壌処理剤の効果が不十分な場合は、雑草の発生時から麦の節間伸長前まで(スズメノテッポウ5葉期まで)にハーモニーDFを10aあたり5～10gを水50～100リットルに希釈して散布する。
・ハーモニーDFはスズメノテッポウには効果が認められるが、スズメノカタビラに効果が劣るので、発生した草種を必ず確認して、有効な剤を選定して散布する。

《除草剤の効果の特徴》

区分	除草剤名	剤型	イネ科雑草に対する効果	広葉雑草に対する効果
土壌処理剤	サターンバアロ	乳剤・粒剤	○	○ ヤエムグラ△ トゲミノキツネノボタン×
	ボクサー	乳剤	○	○
	クリアターン	乳剤・細粒剤	○	○ ヤエムグラ△ トゲミノキツネノボタン×
茎葉処理剤	ハーモニーDF	水和剤	○ スズメノカタビラ△	○

7 病害虫防除

(1)種子消毒

・キヒゲンR-2フロアブルを用い、乾燥種子1kg に対して原液20ml を塗沫処理する。なお、本剤は製剤の特性上、播種に影響が出ないよう、処理後に風乾が必要である。

※従来種子処理していた「ベフラン液剤25」は、2025年(令和7年)11月に登録が失効したため使用できない。

《参考(小麦の栽培管理)》

近年、県中西部で、小麦作付面積が増加しており、パン加工用の用途を中心として栽培され、高品質生産を目指している。

小麦の栽培法は基本的にはビール麦と同様であるが、異なる部分や留意点について解説する。

(1)品種選定

小麦は北海道～九州まで栽培され、大麦と比べて品種数は多い。栽培条件や生産物の用途に合わせて、作付け品種を選定するのが望ましい。

関東東海地方から西の地域で栽培される品種の多くは春播型(播性Ⅰ～Ⅱ)の品種で、しゅんれいと同じく、暖冬年には生育ステージが早まりやすい。一方、東山～東北地域の品種は秋播型(播性Ⅳ程度)が基本で、耐寒性・耐雪性を備えているものが多い。

日本の小麦品種の多くは日本麺(うどんなど)用途であるが、近年はパン、中華麺、醤油などの加工適性を持つ品種も育成されている。

なお、最近の小麦品種は早熟になってきているが、収穫時期はビール麦よりも15～20日程度遅くなる。

また、主要2品種の特性は以下のとおりである。

○はる風ふわり

①「ミナミノカオリ」より穂発芽耐性が優れ、製パン性は高品質の輸入小麦並に優れる。出穂・成熟は「ミナミノカオリ」より3～4 日早い。

②千粒重がやや小さく、収量はやや少ないが、容積重は同程度。赤かび病抵抗性は‘やや弱～中’なので、適切に防除を行う。

○銀河のちから

①強靭なグルテンを持つ超強力小麦で、パン・中華めん用のほか、グルテンの質が弱い小麦とのブレンド使用も可能で「ミナミノカオリ」より出穂期は13日遅く、成熟期は3～4日遅い(生育ステージ比較は、鳥取農試2013年度成績から引用)。

②耐倒伏性と耐穂発芽性に優れ、耐病性は、縞萎縮病に強く、赤かび病・赤さび病には中程度である。

＜品種選定上の留意点＞

26年産、30年産は収穫時期の高温、多湿により低アミロ*注が多発した。これは穂発芽によって子実中のαアミラーゼ活性が高まったためであるが、品種によって穂発芽耐性の優劣が異なるので、優れた品種(穂発芽耐性が難の品種)の普及が待たれるが、低アミロ回避のために、適期播種や倒伏防止、適期収穫によって穂発芽防止に努めることが重要である。

さらに、令和元年においては、10月播種のミナミノカオリで、暖冬によって生育が早まったことに伴い、開花期に周期的な低温条件となり、受精不全を原因とする不稔によって減収した。

※注 低アミロ:小麦デンプンの粘性をあらわすアミログラム最高粘度が極端に低下する現象で、製粉はできるものの粉の品質が極端に低下し、パン等用途に適さなくなる。

(2)播種期の基本・播種量

平坦部で春播型品種を栽培する場合の播種適期は、ビール麦と同じ 11 月上旬である。秋播型品種であれば 10 月下旬から播種できる。特に標高の高い場所では、積雪期までに生育量を確保する必要があること、収穫時期が遅くなりやすいことから、秋播型品種を 10 月中に播種するのが望ましい。

ビール麦より小粒であるが、播種量は全耕全面散播で 10kg/10a、条播で 8kg/10a 程度とする。

(3)施肥

施肥量・施肥時期はビール麦に準ずる。なお、小麦の加工適性には子実蛋白含量が重要で、パン、中華麺、醤油用途の場合は日本麺用よりも高蛋白が良いとされるため、止葉抽出期～出穂後の追肥を施用する必要がある。

(4)病害虫防除

小麦は大麦よりも出穂が遅く、赤かび病に感染しやすい。開花～乳熟期の防除は必須である。また、令和4年産においてコムギ黄斑病が本県で初めて確認された。ほ場を良く観察し、発生状況に応じた防除を実施する。

(5)収穫

小麦の成熟期は「粒がロウの固さに達した」時である。コンバイン収穫は子実水分が 27～28%以下になってから行う。降雨に合わない範囲では収穫適期は比較的長いが、成熟期後 1～2 日頃の収穫が望ましい。

《参考(中国地方　長期予報(3 か月予報))》　日本気象協会　令和8年10月20日発表

向こう３か月の天候の見通し
中国地方 （11月～1月）

予報のポイント

- 向こう３か月の気温は、寒気の影響が小さいため、高いでしょう。
- 向こう３か月の降水量は、低気圧の影響を受けやすいため、山陰では平年並か多く、山陽では多いでしょう。

月別の天候

11月	• 山陰では、低気圧の影響を受けやすいため、期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。山陽では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
12月	• 山陰では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。山陽では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
1月	• 山陰では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。山陽では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 11月	平均気温 12月	平均気温 1月
中国地方	低10 並30 高**60**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み	低20 並30 高**50**% **高い**見込み

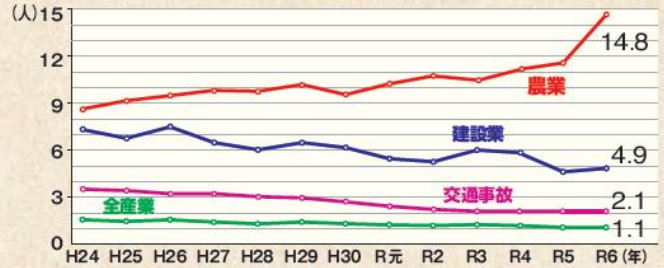
		降水量 11月	降水量 12月	降水量 1月
中国地方	山陰	少20 並30 多**50**% **多い**見込み	少20 並**40** 多**40**% **平年並か多い**見込み	少20 並**40** 多**40**% **平年並か多い**見込み
	山陽	少20 並30 多**50**% **多い**見込み	少20 並30 多**50**% **多い**見込み	少20 並30 多**50**% **多い**見込み

秋の農作業安全運動は、10月31日で終了しますが、麦の管理作業における農作業事故には十分注意しましょう！



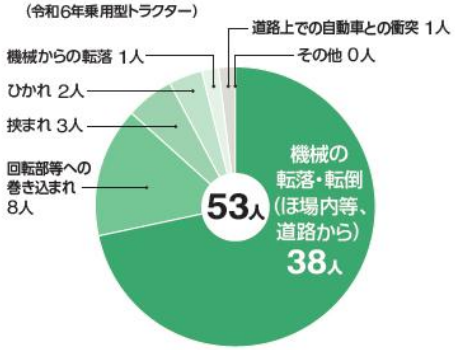
農作業中の死亡事故は一般交通事故の約7倍、建設業の約3倍にも及びます。
特に機械事故では、用水路等への転落や傾斜地での横転などの
「転倒・転落」事故が多く発生しています。

■10万人あたり事故死亡者数の推移



出典:死亡者数　農作業死亡事故調査(農林水産省)、死亡災害報告(厚生労働省)
就業者　農林業センサス、農業構造動態調査(農林水産省)、労働力調査(総務省)
令和6年中の交通事故死者数について(警察庁)

■原因別の農業機械作業に係る死亡者数
(令和6年乗用型トラクター)



出典:農作業死亡事故調査(農林水産省)

公道での農業機械の転落・転倒による交通事故を防ぐために以下のポイントに注意しましょう!

ポイント1　確実な運転操作とブレーキ連結の確認

ハンドルやブレーキ操作のミスは、道路等からの転落・転倒に繋がります。道路走行時には、左右のブレーキを連結し、道路状況に応じた、確実な運転を心がけましょう!

ポイント2　安全キャブ・フレームの装着とシートベルト・ヘルメットの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームが付いているトラクターを利用しましょう。追突時の投げ出しや頭部損傷を防ぐため、シートベルトやヘルメットを装着しましょう!

乗用車を運転する皆さまへ　農業者の皆さまへ

公道上で農業機械に乗用車が追突する事故が多く発生しています!

農業機械は走行速度が遅く、道路上での農業機械の事故のうち**追突事故が全体の約4割**を占めております。特に薄暮期や夜間は後続車から前方を走行する農機が発見しづらく、追突事故が発生しやすいので、両方の運転者が追突事故を防ぐための対策をすることが重要です。





低速車マークの設置



乗用車を運転する皆さま

農業機械のような、特殊な自動車には**「低速車マーク」**の設置を推進しています。ドライバーの皆様は、**前方にこのマークを付けた農業機械を発見したら、減速する等、**追突を防止する行動をお願いします。また、幅の広い作業機を装着して走行している場合もあるので、追い越す際にも作業機の車幅に十分ご注意ください。

農業機械を運転する皆さま

農業機械は、走行速度が遅いため、公道走行時は後続車からの発見が遅れ、追突される可能性があります。追突から自分の身を守るためにも、後方から視認しやすい**「低速車マーク」**を設置しましょう。

農林水産省　警察庁　JA共済　2026.04

鳥取県の農家のみなさん

農作業死亡事故警報

が、発令されています！

事故を起こしては、何にもなりません。



「自分は大丈夫」その油断が危険です。

JA鳥取県青壮年連盟　副委員長
FARM FUKUTA代表
福田　明

慣れた作業ほど油断しない！



転倒時 命を守る

シートベルト・ヘルメット
安全フレームを使用



巻き込まれ の予防

農機具手入れ時は
必ずエンジン停止



挟まれ の予防

管理機バック時は
後方の障害物確認を



熱中症 の予防

こまめな休憩と
水分・塩分の補給

安全確認や声掛けで

事故を未然に防ぎましょう



鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

（事務局）鳥取県農林水産部経営支援課　TEL:0857-26-7327
ＪＡ鳥取県中央会農業くらし対策室　TEL:0857-21-2607

行き先　作業内容　帰る時間
を、伝えてから出かけましょう。